

泌尿器科

1. 一般的项目： 腎臓および副腎の腹腔鏡手術(症例数)

▶ 項目の解説

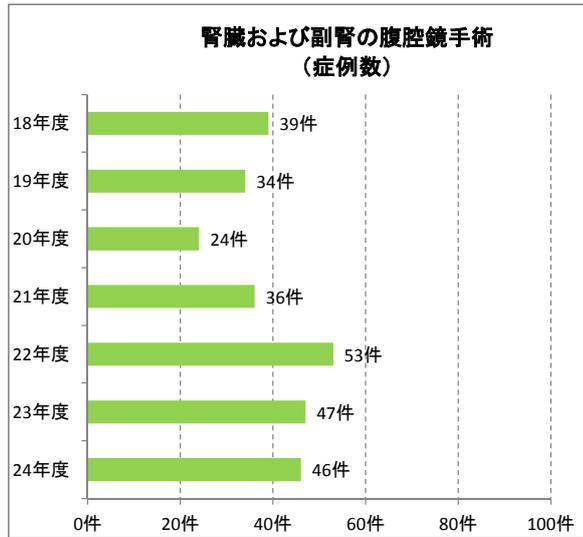
腎臓および副腎は、後腹膜臓器のため腹腔鏡以前はかなり大きな切開創が必要であったが、腹腔鏡手術にて低侵襲となり、術後疼痛緩和、入院期間の短縮が実現できるようになりました。

▶ 定義

年間の手術件数です。

コメント
手術件数のため、ばらつきはありますが、最近では年間30例以上は施行しています。

算式 延患者数 単位 件



2. 大学病院特有項目： 前立腺癌の腹腔鏡手術(症例数)

▶ 項目の解説

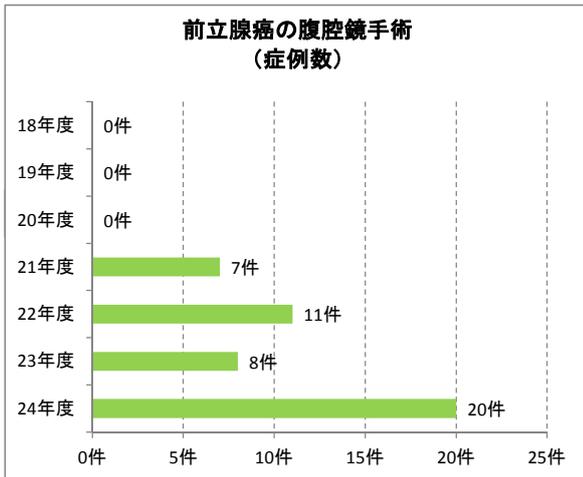
前立腺表面には静脈叢が発達しているため、摘出の際、出血が多くなる場合もありましたが、腹腔鏡手術による気腹にて、出血を最小限に抑えることが可能となりました。また術後疼痛緩和が実現できるようになりました。

▶ 定義

年間の手術件数です。

コメント
手術件数のため、ばらつきはありますが、増加傾向にあります。

算式 延患者数 単位 件



膀胱癌の腹腔鏡手術(症例数)

▶ 項目の解説

前立腺や膣周囲には静脈叢が発達しているため、摘出の際、出血が多くなる場合もありましたが、腹腔鏡手術による気腹にて、出血を最小限に抑えることが可能となりました。また尿路変向で使用する腸管の創外に脱出しないため、浮腫が軽減できました。また術後疼痛緩和が実現できるようになりました。

▶ 定義

年間の手術件数です。

コメント
手術件数のため、ばらつきはあると思いますが、増加する可能性があります。

算式 延患者数 単位 件

